



# 扇 寿

能代市立第五小学校

学校報 NO. 18  
令和6年 2月 7日  
TEL. 58-2178 校長室

## 回 覧

自治会の皆様  
お願いします

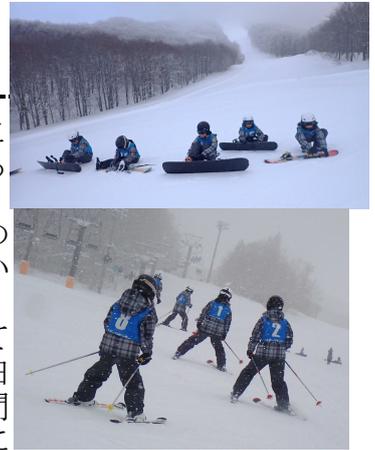
〈校 訓〉 夢にいどみ 人と和す  
〈教育目標〉 進んで学び 心豊かで すこやかな子どもの育成

### 2024年も地域に元気を発信しながら鍛えていきます。 震災へのPTA募金活動ありがとうございます。

#### PTA募金活動への温かな ご協力ありがとうございます

県PTA連合会から北陸地震に対して募金活動への協力要請があり、保護者の皆さんへ連絡したところたくさんの募金が集まっています。同じ震災を経験した東北の人間として何かできることがあればという善意が届けられると思います。

1月24日から26日の3日間スキースノーボード宿泊体験に行ってきました。5年生が対象で、保護者の積立や能代市のバス補助、田沢湖体験センターの補助などのおかげで実施できています。3日間の引率も学校や家庭を離れるわけですから大変です。子どもたちにはいろんな支えがあって実施できていること、辛く苦しいことにも挑戦すること、努力してできたことを味わうこと、家に帰ったら必ず「大変だったこと、楽しかったこと、できるようになったこと、保護者への感謝を伝えること」を話しましたが5年生の保護者には感謝の言葉が届いたのでしょうか。できないことや初めてのことに挑戦するには勇気が必要です。各班に分かれ厳しく指導してもらいました。雪に突っ込んでも自分の力で立ち上がる、仲間に励まされる、泣いていた児童が最終日には頂上から滑り降りてくる、楽しかった、帰りたくないと話す児童。また、食事や入浴の時間も決まっていて、テレビもない、家庭とは違う環境を体験し、たくましくなる児童。疲れていてもバイキング料理をしっかり食べて、眠れる児童たちに安心しました。6年生が「校長先生スキーに行くんですか？いいなあ私たちも行きたい」と声を掛けてくれました。苦勞して辛いことを乗り越え、楽しめればそれぞれの思い出になるのですね。



#### 同窓会総会より 心から応援してもらい 地域を元気に！

同窓会総会を行いました。参加者全員が今の第五小学校の状況を肯定的に受け入れてくださっています。地域が子どもたちを応援しています。朝の交通安全指導や通学路の雪かきなど、我々には分からないところでボランティアでがんばってくれています。鶴形地区では毎朝スクールバスを声を掛けながら見送ってくれるおばあさんがいるそうです。

「集団登校の姿がいい。あいさつはいいし、高学年が前後を守り一列で立派に歩いて行く。素晴らしい姿から元気をもらっている。若いお父さんお母さんもその姿を見て子育てしてほしい」と話していました。新入学児童説明会を行ったとき、子どもと一緒に歩きたいと話す保護者もいました。

実は、総会の前に船山副会長と田沢湖の食事会場でお目にかかりました。「第五小と浅内小が続けてスキー教室を行ってくれているのが嬉しい。私は現在77歳、今日は85歳と90歳の先輩を連れてきました。毎年スキーを楽しみにからだを鍛えています」と5年生の前で話していました。思わず私は「第五小の先輩はすごいな。これが生涯スポーツ。健康で楽しい人生を送るということ。でも校長先生は30年後にスキーをする自信がないなあ」と子どもたちに伝えました。



第五小の子どもたちはアンケート調査をすると「自分にはよいところがある」という数値が低い傾向にあります。学習成績は安定しています。素晴らしい体験と地域への元気の発信を行っています。校内でも後輩の面倒を見て立派に過ごしています。我々教職員も保護者も、地域の人も子どものがんばりを認めているものの、言葉掛けが足りないのかもしれない。学校でも「がんばったこと、できていることを認める言葉掛け」を増やしていきます。ご家庭では「がんばってらが」「うん」で終わらずに「どんなことを、上手くいったこと、苦勞したこと、成功体験、失敗体験」など会話を増やし子どもの言葉で語らせてください。自分の気持ちや考えを自分の言葉で発信する力を付けていきましょう。

